

子ども浮世絵しんぶん

藤沢市
藤澤
浮世絵館

2023年
1月
第15号



カラフルなすごろくが

展示室に大しゅうごう!

藤沢市藤澤浮世絵館では、

二月二十六日(日)まで、「サ

イは投げられた 江戸の絵双

六おもしろヒストリー」展を

おこなっています。江戸時代

につくられた「すごろく」が

たくさん並ぶ展示室で、色と

りどりの大きなすごろくをた

くさん見ることができます。

展示されているすごろくの

多くは、今の私たちがあそぶ

「すごろく」と同じルールで

す。江戸時代には他にも、別

のルールであそぶすごろくが

あったので、その種類を紹介

します。

すごろくの主な種類

今の私たちがあそぶすごろ

くは、サイコロで出た目の数だ

け進むルールでゴールを目指し

ます。これを、「まわりすごろ

く」とよびます。また、サイ

コロをふり、指示されたマスに

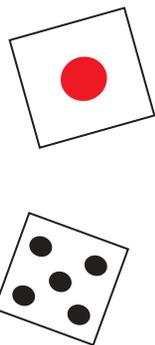
飛んでゴールを目指す「とびす

ごろく

という、



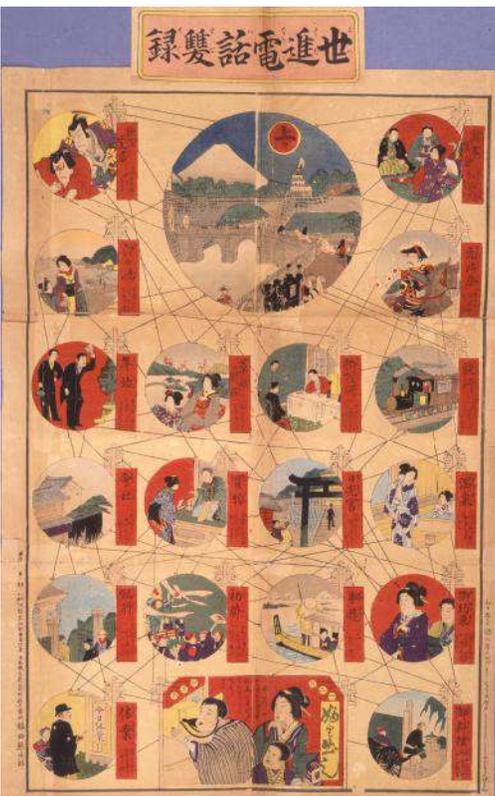
少しめずらしいルールであそ
ぶすごろくも浮世絵館にはあ
ります。



すごろくによってマスの進み
方がちがうのだね。
次のページでは、あるすごろ
くを例にして、よりくわしく
みてみよう!

ころとちいさなサイコロのおはなし

今のサイコロはプラスチックでできたものがほとんどで
すが、昔は、動物の骨や木、石でつくられていました。
形は今と同じものもあれば、細長いものもあったよ。



三代歌川国貞「世進電話双録」明治二十六年(一八九三)

すごろくで
ゆかいな
旅たいけん
下のすごろく
は、スタートと
なるふりだしの
日本橋から、ゴ
ルとなるあがり
の京都を目指す
「東海道双六」で
す。東海道の観
光スポットやお
いしい食べ物、
時にはアクシデ
ントにもあいな
がらコマを進め
ていきます。

おちあひましく「五十三駅 東海道滑稽双六」万延元年(一八六〇)



このすごろくは、「やじさん」と「きたさん」という2人組が東海道を旅する物語がもとになって
います。右下のやじさんときたさんがいるマスがスタート、中央の大きなマスがゴールです。

どんな旅がマスに描かれているのかな?

ふじさわ



藤 八
さ

やじさんときたさんが、
おだんごを食べている
よ。

おだわら



小 田
原

あちちち!
おふろのそこがこわれ
て、きたさんおおあわて!

はままつ



は
ま
松

うわあ! びっくりした〜
おばけかと思ったら、着
物だった!



やじさんときたさんは江戸時代の『東海道中膝栗毛』という小説に登場します。この物語が大人気だったため、すごろくにもなったんだね。